

2023年度
第2回 理事会議事録

2023年 6月 16日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

2023年度 第2回理事会議事録

1. 日 時 2023年 6月 16日 (金) 11:30~13:40
2. 場 所 鉄鋼会館 802号室
3. 構 成 員 14名
4. 出席構成員 14名 (別紙 出席者名簿参照)
5. 議事次第
 - (1) 開会の辞
 - (2) 定足数確認報告 (定款第36条)
 - (3) 会長挨拶
 - (4) 前回理事会議事録の確認
 - (5) 審議事項
 - 第1号議案 第56回通常総会 議案書確認の件
 - 第2号議案 共済事業10年表彰の件
 - 第3号議案 旅費規程改定の件
 - 第4号議案 賛助会員新規入会の件
 - (6) 報告事項
 - 1) 本日のスケジュール及び総会等の運営要領確認の件
 - 2) 委員会等活動状況報告
 - ① 人材育成委員会
 - ② 50周年記念事業準備委員会
 - ③ 運営委員会
 - 3) 特定技能外国人材対応について
 - 4) その他
 - (7) その他の定例報告事項
 - 1) 構成員登録状況
 - 2) 着工面積と推計鉄骨需要量
 - 3) 2023年度主要会議日程
 - 4) 支部報告
 - (8) 閉会の辞

6. 議事要旨

(1) 開会の辞

進行役の小貫専務理事より開会する旨が告げられた。

(2) 定足数確認報告

小貫専務理事より、本理事会は 14 名すべての理事が出席されており、定款第 36 条（理事会の定足数）に基づく成立要件となる定足数が満たされていること、また、監事も 2 名全員に出席いただいていることが報告された。

(3) 会長挨拶

永井会長より「今日は、総会・懇親会と久々の従来型のフルスペックの開催です。忙しい 1 日となりますが、よろしくお願ひします。私も会長就任後 1 年となりますが、皆様のご協力により、何とか協会運営を行ってきました。今後も頑張っていきますので、よろしくお願ひします。」との挨拶があった。

(4) 前回理事会議事録の確認

小貫専務理事が、2023 年度第 1 回理事会の要点を読み上げ、確認、了承された。

(5) 審議事項

第 1 号議案：第 56 回通常総会 議案書確認の件

第 56 回通常総会 議案書確認の件について、小貫専務理事より以下の内容が説明された。

本日の総会に提出される総会議案書については、前回 5 月 23 日の理事会にて承認されたものと内容の変更はなく、本内容で総会に臨ませていただきます。

本案に対する意見、質問等はなく、原案通り承認された。

第 2 号議案：共済事業 10 年表彰の件

共済事業 10 年表彰実施について、議案書[理 23-2-議 2]<p3>にそって、平井総務部長から、以下の内容の説明が行われた。

- ・共済の 10 年表彰については、10 年前の 2013 年にも実施しており、今回も同様の選定基準、考え方で実施したい。
 - ・基準を設定し、実績の上位 10 都道府県に感謝状を贈呈する。
 - ・評価方法については、共済 3 事業（生命共済、指定塗料、鋸刃）の 10 年間の累計実績に対して、会費負担率による各都道府県の規模補正を実施。
 - ・3 事業の補正後実績に基づき、総合順位を決め、感謝状対象を決定する。
- 尚、表彰対象の選考方法については、次回以降の理事会にて詳細を説明、あらためて表彰対象の都道府県を確認、承認することとした。本案に対する意見、質問等はなく、共済事業の 10 年表彰を実施することが、承認された。

第3号議案：旅費規程改定の件

旅費規程改定に関し、議案書[理 23-2-議 3]<p4>にそつて、平井総務部長から以下の内容が説明された。

- ・ 前回 5 月 23 日の理事会において、足元の宿泊費高騰を踏まえ、宿泊費の見直しが提案された。次回理事会（6 月 16 日）で、具体的な規程の見直しについて審議することとしたため、本日提案をさせていただく。
- ・ 規程の見直し案として、
 - ① 全構協理事・監事のみを対象に見直しを実施
 - ② 非常勤役員、委員全てを対象にし、対象地区を東京、大阪に限定する。
 - ②（改）非常勤役員、委員全てを対象にし、対象地区を全構協の事務所がある東京だけに限定する。

上記 3 案が提案された結果、特に事務所のある東京における宿泊を適切に確保するという観点から、案②（改）で見直すことが承認された。

第4号議案：賛助会員新規入会の件

賛助会員新規入会の件に関し、議案書[理 23-3-議 4]<p5-6>にそつて、平井総務部長から説明された。

本案に対する意見、質問等はなく、原案通り承認された。

(6) 報告事項

1) 本日のスケジュール及び総会等の運営要領確認の件

本日のスケジュール及び総会等の運営要領について、議案書[理 23-2-報 1]<p8-11>にそつて、平井総務部長から説明され、確認が行われた。

2) 委員会等活動状況報告

①人材育成委員会

「人材育成委員会」の内容について、議案書（p12-14）にそつて、総務部大原担当部長から説明があり、確認された。内容は以下の通り。

- ・ 次世代経営研修の募集を開始するにあたり、あらためて内容の説明を実施する。支部長には、開催関係の対応について、ご協力をお願いしたい。
- ・ 研修内で行うグループディスカッション時の補佐役（アドバイザー）の選定について、支部長には支部内での展開等、ご対応をお願いしたい。
- ・ 受講者募集・研修開催実務に関する支部への依頼内容について、
 - a. 受講者の募集に関する対応をお願いする。
 - b. 研修開催実務について、全構協事務局からは職員を派遣せず、支部事務局主体で実施していただく（全構協からは講師のみを派遣）。
 - c. 開催実務でご対応いただく方（受講者以外）の交通費等は、全構協で負担。

② 50周年記念事業準備委員会

「創立50周年記念事業準備委員会」について、議案書（p15）にそって総務部滝本課長より、以下の内容が説明され、確認された。

- ・7月12日の記念式典・祝賀会に向けて、本日は事実上の最後の理事会であり、あらためて各内容を説明させていただく。
- ・「開催日時・会場」、「記念式典」、「祝賀会」「案内先」、「感謝状贈呈」について説明が行われた。

尚、当日のご出席者の服装については、平服（ノーネクタイ）とすることが補足説明された。（会長、副会長のみ正装）

③ 運営委員会

「運営委員会」について、議案書（p16）にそって、妹尾理事より、以下の内容が説明され、確認された。

- ・「働き方改革の対応」について、運営委員会で取り纏めを行った。
- ・スローガン：「鉄骨業界はすでに働き方改革を実施しています。」を作成し、その中で、具体的な3項目を整理した。
- ・ゼネコンの「働き方改革」の影響に関して、鉄骨業界として、強い意志と姿勢を示す内容としている。
- ・今後の発信方法（ポスター、チラシ等、又はそれを活用した陳情等）については、全構協事務局にて検討することとする。
また、この内容を全国に浸透させていくためには、各地域（支部・県）での活動が重要であるとの意見があった。
永井会長からは、この内容を踏まえ、なるべく早い時期に、対外発信を実施していきたい、また7月から実施する鉄建協との共同陳情の中でも、この内容を反映したいとの発言があった。

3) 特定技能外国人材対応について

特定技能外国人材への対応について、議案書（17p）にそって、平井総務部長より以下の内容が説明され、確認された。

- ・昨年11月の理事会において決定した特定技能外国人制度における分野追加要望の件について、あらためて要望書として整理したもの。
- ・政府の有識者会議等の動きもあり、今後の議論に向けて、経産省からも依頼があり作成したもの。
- ・本日、理事会にて説明させていただき、今後経産省に提出する予定。

4) その他（全鉄評：評価員研修への協力依頼）

（株）全国鉄骨評価機構より、別紙：「鉄骨製作工場で行う評価員研修の協力依頼」が提出され、高野社長より、以下の説明があった。

- ・全鉄評の評価員の世代交代が進んでいることを踏まえ、実際の鉄骨製作工場、評価員間のレベル合わせの研修を行いたい。この秋から、2年程

かけて、各地域（支部）単位で実施したい。

- ・研修場所（ファブ）の選定に際しては、参加する先生方の交通の便を前提に、研修を実施する場合の会議室の手配等、受入体制を確保していただけるファブが候補になると考えている。
- ・あくまでも、実際の物作りの現場での評価員の研修というのが目的であり、研修場所の提供と、工場見学のご協力をお願いしたい。
- ・詳細の検討はこれからであり、まずは理事会での情報提供の段階。
- ・評価員だけの内部研修とはいえ、研修の実施場所である特定のファブの視点に偏らない様な研修方法を検討する必要があるのではとの意見があった。

（図面問題検討WG）

前回5月の理事会において「図面問題に関する検討WG」を設置することが承認された。今後活動を進めるにあたり、WGのメンバーを以下の支部からご推薦をいただきたい。

東北支部、中部支部、近畿支部、九州支部の各支部から、メンバー1名の推薦をお願いしたい。

（7）その他の定例報告事項

1) 構成員登録状況

2023年6月16日時点の構成員数は、前回報告時(5月23日)より6社増加し、2,178社であること等が、議案書(p19-23)により報告された。

2) 着工面積と推計鉄骨需要量

2023年度4月の鉄骨需要量合計は、39.9万t、前年度比95.5%と、やや弱含んでいること等が、議案書(p24)により報告された。

3) 2023年度主要会議日程

主要会議日程が、議案書(p25)により確認された。

4) 支部報告

〔九州〕

- ・支部の位置付けについて、講習会事業等の収益事業は、福岡県の組合に持っていき、支部の法人格取得の検討は進めない方向。

〔四国〕

- ・山積み等、著変なし。
- ・今後については不透明。価格転嫁、適正価格の確保は、道半ば。

〔中国〕

- ・Hグレードは概ね順調。一方、地元の小規模ファブ厳しい状況継続。

〔近畿〕

- ・Hグレードについても、やや不透明感が出てきている状況。

〔中部〕

- ・地域により、状況のバラツキが出ている。
- ・先日発生した大雨の被害については、事業への影響のある様な甚大な被害はなかったと認識している。

〔北陸〕

- ・仕事量的には大きな変化はないが、今後に向けてはやや不透明感あり。
- ・諸物価高騰等の価格転嫁がポイント。

〔関東〕

- ・諸物価価格上昇については、鋼材以外の転嫁は難しいのが実態。
- ・人手不足の問題は深刻。

〔東北〕

- ・山積み等の状況は著変なし。
- ・東北地区各地域において、採用に関する取組みを行っている。

〔北海道〕

- ・手持ち工事量、稼働率ともに大きな変化はないが、工期のずれが頻発しており山積みの調整が大変。
- ・ラピダス新工場は単価の問題もあり、なかなか難しい案件。

(8) 閉会の辞

以上をもって、審議事項、報告事項、その他の定例報告事項等、予定された全ての事項が終了したので、議長は閉会を宣し散会した。

以 上

(別 紙)

出席者名簿

会 長	永 井	毅
副 会 長	大 島	嗣 雄
〃	大 竹	良 明
専務理事	小 貫	武
理 事	佐 藤	正 記
〃	三 浦	隆 宏
〃	秋 山	順 一
〃	寺 田	健 信
〃	柏 原	正 明
〃	出 雲	津 芳
〃	妹 尾	一 人
〃	登 尾	昌 弘
〃	岩 永	洋 尚
理 事(相談役)	米 森	昭 夫
監 事	村 上	眞 樹
〃	五 月 女	久 和

理事総数	14名	うち出席者	14名
監事総数	2名	うち出席者	2名